

令和5年度 准組合員モニター 募集

准組合員のみなさん あなたの声を
より良いJA事業の実現に活かしてください

JALを利用する准組合員との継続的な意見交換を通じ、准組合員のJA理解の促進と組合員・利用者の視点に立った事業運営、商品・サービスの提供を図るため、准組合員モニターを募集いたします。

お申込み・お問い合わせ

JALしほづホームページ内バナーからお願いいたします
<https://www.ja-shimotsuke.jp/cgi-bin/form/>

※モニター候補者応募フォームに必須事項を入力して下さい



応募資格	JALしほづ管内にお住まいの20歳以上の准組合員
活動内容	JAL各事業の商品やサービスについてのモニター活動 (意見交換会やアンケート等を通じて実施)
活動任期	令和6年1月から令和6年12月末まで
募集人数	7人程度
募集期間	令和5年5月から令和5年11月まで
その他	応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。 モニターにご参加いただいた方には、JALしほづ産の農畜産物等の記念品をご用意いたします。

資産運用応援 投資信託セットプラン

令和5年3月1日㈭～令和6年2月29日㈭

お金の色分けとは、手持ちの資産を目的に応じて「つかうお金」「ためるお金」「ふやすお金」の3色に分けることです。資産運用の第一歩として、「ためるお金」と「ふやすお金」を考えてみませんか。定期貯金(ためるお金)と投資信託(ふやすお金)がセットになった資産運用プランです。

期間中に定期貯金と投資信託をセットでご契約の方



定期貯金

上限 投資信託購入金額の範囲内

預け期間 1年	組合員	組合員外
新たな資金でお預け入れの場合	年 0.35% (税引後 0.27%)	年 0.1% (税引後 0.079%)
JAL内の資金でお預け入れの場合	年 0.1% (税引後 0.079%)	年 0.05% (税引後 0.039%)

*組合員外の方は、1,000円の最低積入額を超過してお預け入れできます。

詳しくは店舗の営業窓口にご相談ください。

JALしほづ

投資信託

(スポット購入)

ご購入金額
20万円以上

JALバンクアプリで運用利益をいつでもチェックできる

詳しくはこちらから JALバンクアプリ

<http://www.jabank.org/app/>
※スマートフォン専用アプリです。



老後の生活費に不安はありませんか？

JA共済

予定利率変動型年金共済 ライフルード

日本の社会保障制度は、「高齢化」と「少子化」のダブルパンチで大きな改革を迫られています。国の年金が期待できないと言われ、自効努力が必要と言われています。あなたはどうしますか？

月々10,000円で老後に備えませんか？

<ご契約例> 初回5年間の予定利率:0.3% 6年目以降の最低保障予定利率:0.5% 年金受取期間10年 60歳払込終了・年金開始 男性 20歳加入 月払10,000円

<お受け取り例> 最低保証年金額 年額 506,630円 ×受取期間 10年 = 累計 5,066,300円

※令和5年1月1日現在

<ポイント>

①年金額が増える楽しみがあります

ご加入6年目以降毎年予定利率を見直し、当該共済年度に適用される予定利率が最低保証予定利率を上回った場合には、最低保証年金額が増額されます。しかも、一度増額された最低保証年金額は減りません。

②月々の積み立て感覚でお気軽に加入できます

ニーズに合わせ、年払プランもお選びいただけます。

③税制上のメリットがあります

(1)税制的控除を受けた場合、(2)所得税で最高4万円、住民税で最高2万8千円の所得控除が受けられます。(1)税制的控除を受けた場合、年金受取人の所得額が、かつが年金の支給額であることを前提とした場合に受けられます。ただし、定期預金などと同様の場合は、年金受取額の50%以下が支給額の年収です。(2)税制的控除を受けた場合、年金受取額の50%以下が支給額の年収です。

④加入手続きがカンタン

医師の診査は不要です。職業等の簡単な告知でOKです。

詳しくは店舗へお問い合わせください。

詳しくは最寄りの店舗へお問い合わせください。

詳しくは最寄りの店舗へお問い合わせください。</p

さあ あなたも

はじめましょう つづけましょう



(なぜ「国消国産」なの?)

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を制限しました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったので影響は出ませんでしたが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうなってしまうのか。私たちにとって大きな教訓となりました。

全ての食料を国内で生産することは現実的ではありませんが、国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、皆さんにも知っていただきたい大切なテーマです。

ぜひみなさまにもこの考え方をご理解いただき、食料を生産する農業・農村などを支えたいと思っていただけの方が一人でも多く増えることを切に願っています。

私たちの食料を未来につなぐために、私たち自身が考え行動することが大切です。



▲2023年1月18日
大平カインズモール農産物直売所「愛菜果(あいさいか)」での「やっぱり国産農畜産物推進運動～みんなのよい食プロジェクト2022～」の第2回統一街頭宣伝活動の様子

（「国消国産」について、もっと詳しく知りたいあなたに
おすすめ関連リンク集）

(具体的に何が「国消国産」につながるの?)

皆さんができる最も身近な「国消国産」の取り組みは、JAしもつけの農産物直売所で地元の新鮮な農畜産物をお買い求めいただくことです。農産物直売所を利用して地元産のものを消費すれば、新鮮で美味しいだけでなく、輸送によるCO2の排出削減にもつながります。また、JAしもつけでは、昨年5月から産直オンラインショップ「JAしもつけ青果店」の運営をスタートしましたので、こちらもぜひご利用ください。

- JAグループ 国消国産ページ
<https://agri.ja-group.jp/foodsecurity/>
 - JAしちもつけ農産物直売所ページ
https://www.jashimotsuke.jp/farm_produce/market.html
 - JAしちもつけ青果店ページ
<https://www.ja-shimotsukeseikaten.jp/>



「地域農業振興の 応援団」

JAしもつけ 准組合員の皆さまの 近況報告

このコーナーでは「地域農業振興の応援団」として日々活躍されているJAしまつけの准組合員の皆さんに、関わる最近の活動についてご紹介いたします。

令和5年1月27日 准組合員の声を取り入れJA自己改革を推進 「准組合員モニター制度」がスタートしました

准組合員によるJA理解の促進や組合員・利用者の視点に立った事業運営、商品・サービスの提供を図るべく、JALしもつけは准組合員モニター制度をスタートしました。1月27日、第1回目の活動として、栃木駅前のアプロニーで説明会を開催。事前に応募した准組合員モニター5人が参加し、農業協同組合についての概要や准組合員制度、同JAの事業内容や同モニター制度の目的や今後のスケジュールなどの説明を受けた他、アンケートや意見交換を行いました。



令和4年11月6日 コロナ禍で3年ぶりの開催 「第7回JAしもつけウォーキング大会」を開催しました

JALしちつけは11月6日、大平地区でJA健康寿命100歳プロジェクト「第7回JAしちつけウォーキング大会」を開きました。同JAが、ウォーキング大会を開くのは3年ぶり。ここ2年間は、コロナ禍により中断を余儀なくされてきました。事前に応募した同JA管内に住む参加者34人が参加しました。

「健康寿命延伸プロジェクト」の一環です。同プロジェクトは、健康寿命の延伸を目指し、2010年にスタートしました。人生100年時代の今、健康寿命を伸ばす「運動」「食事」「健診・介護・医療」の3つの柱に「いきがいとゆとり(=社会参加)」の活動を加えることで、同時に地域コミュニティの再生も目指します。なお、イベントは、JA共済「地域貢献活動」の助成を受けて実施しました。

